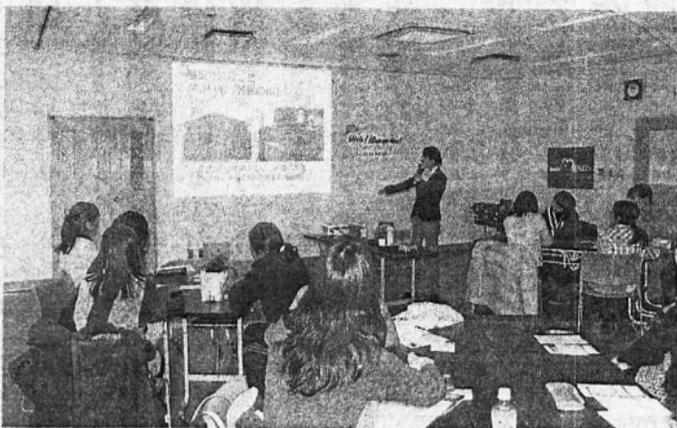


学ぶ支援婦産妊の米中

から機構AMD A 員組合まやかや
おコープ組合員



に支援婦産妊でのラスジュホン
について学んだ学習会

生活協同組合おかやまコープ（岡山市北区奉還町）は15日、支援している中米ホンジュラスの妊産婦支援活動について学ぶ学習会を、同今のコープ大野辻店で開いた。

支援活動は、開発途上国の生活環境改善に取り組むAMD A社会開発機構（同蕃山町）が実施。同機構プロジェクトの村上久子さん（60）を講師に招き、岡山西

エリア組合員約20人が学んだ。

村上さんは、現地では病院や入院設備が不足し、出産翌日には退院させられるため、妊

産婦や乳幼児の死亡率が高いと説明。妊婦健診時に栄養指導などを行う「妊婦クラブ」、出産前後に滞在できる「妊婦の家」など同機構の活動の様子を動画を交えて紹介した。

サルサダンスの体験や現地の食事の試食もあった。同撫川、坂本一恵さん（52）は「現状を知り、ショックを受けた。適切な支援が施され、女性や子どもが健やかに過ごせる環境を整うよう願っている」と話した。（吉尾夏紀）

■本社HPに動画